

番 号	24請願第8号 (まちづくり環境委員会付託)
受理年月日	平成24年6月7日
件 名	放射線被曝から子どもを守ることにについて
提 出 者	三鷹市所在 新日本婦人の会三鷹支部 支部長 栗原 寿子 ほか 370人
紹 介 議 員	岩田 康男、野村 羊子
要 旨	
<p>〔請願趣旨〕</p> <p>いつも私たち市民の生活向上のために御尽力いただき、また福島第一原子力発電所の事故後、放射線被曝に対する市民の不安を払拭するために、継続して市内の放射能の空間線量測定を行っていただいていることに感謝します。</p> <p>私たちは、特に次の世代を担うであろう自分の子どもや孫に、放射能の被曝を極力避ける取り組みを行うことこそ私たち大人の責任だと考え、ここに請願を提出いたします。</p> <p>三鷹市では、昨年、学校や保育園の給食食材についての放射能の測定を行いました。新年度においても予算が組まれていることは承知をしています。しかし、給食というものは子どもたちが1週間のうち5日間、毎日、口にします。食材初め給食が安全だということを証明する上でも、また市内の農産物初め私たちが毎日口にする食品が安全だということを自分の目で確かめることができるように、食品の放射線測定ができる機器を三鷹市独自で購入してください。他の自治体では、国から測定器を借りて測定しているところや、毎日の給食を調べているところもあります。都も食品等の放射線測定機器を購入しました。</p> <p>チェルノブイリ事故において、80キロ離れたベラルーシのまちでは、いまだに80～85%の子どもたちが身体に異常を持って生まれてくるそうです(ドキュメンタリー映画チェルノブイリ・ハートより)。そのベラルーシの規制値は、日本の規制値よりもかなり厳しい規制値となっていることを考えると、市民の不安はいまだ解消されておらず、食品についての測定を望みます。</p> <p>放射線被曝から子どもを守るために以下、請願します。</p>	

〔請願項目〕

- 1 食品の放射能測定器を三鷹市独自で購入してください。
- 2 学校、保育園の給食食材、あるいは給食そのものを測定し、公表してください。
- 3 市民が持ち込む食材についても、測定ができるようにしてください。